平成30年度 授業シラバスの詳細内容

科目名(英)	経済外書講読A (Reading Economic Writings in English A)			授業コード	E013901
担当教員名	古川　順一			科目ナンバリングコード	E30418
配当学年	3	開講期	前期		
必修・選択区分	選択	単位数	2		
履修上の注意または履修条件	たとえ英語が苦手でも、英語を通して人間として一番大切なことを学びたいという意欲のある人を歓迎します。				
受講心得	3分の2以上出席してください。予習・復習するように努めてください。ノートを作成してください。最後にノートとレポートを提出してもらいます。				
教科書	なし(プリントを配布します)				
参考文献及び指定図書					
関連科目	西洋経済史、経済学史				

授業の目的	一つの学問を学ぶには、それが成立した背景を、できるだけ広く、また深く知る必要があります。また、できればそれを原語で学ぶのが望ましいことはいうまでもありません。 そこで、この講義では、経済学が成立した社会、文化、歴史、思想などの背景を、英語文献を通して、学びます。どの地域でどのような仕事をする際にも必要な、普遍的視点を身に着けてもらうことを目標としています。 また、専門書を読むのに最低限必要な、英語の文法の知識も身につけてもらいます。また、正確で、こなれた翻訳もできるようにしたいと思います。これによって、明晰な言語表現と思考力も鍛えます。 さらに上のランクを目指して、チャレンジする精神も養いたいと思います。
授業の概要	英語文献を通し、現代社会に生じているさまざまな経済問題、戦争やテロの脅威、資源分配の不平等や貧困の問題、資源の枯渇や環境問題などについて考えます。さらに、これらの問題が生じてくる根源である人間として一番大切にすべきことにまで遡り考察します。また、その解決の道についても、人間として一番大切にすべきことの観点から考えたいと思います。

○授業計画	
学修内容	学修課題(予習・復習)
第 1 週 : ○第1回　イントロダクション 講義全体の授業計画、受講心得、評価基準等について説明します。	資料を配布する
第 2 週 : ○第2回 西洋の経済や経済学の背景にある根本的な問題について考えていきたいと思います。 辞書の引き方などを身につけてもらいます。また、翻訳ノートの作成方法を説明します。 今回はとくに、現代人の直面しているジレンマについて考えます。	(予習)辞書を引き単語の意味を調べ、訳文を作成する。(復習)翻訳ノートの整理。(講義時)自分で訳した訳文を順番に板書してもらい、その場で間違いを訂正する(3h・1h)。
第 3 週 : ○第3回 西洋の経済や経済学の背景にある根本的な問題について考えていきたいと思います。 辞書の引き方などを身につけてもらいます。また、翻訳ノートの作成方法を説明します。 今回はとくに、現代の経済問題について考えます。	(予習)辞書を引き単語の意味を調べ、訳文を作成する。(復習)翻訳ノートの整理。(講義時)自分で訳した訳文を順番に板書してもらい、その場で間違いを訂正する(3h・1h)。
第 4 週 :	

○第4回 西洋の経済や経済学の背景にある根本的な問題について考えていきたいと思います。 辞書の引き方などを身につけてもらいます。また、翻訳ノートの作成方法を説明します。 今回はとくに、現代の経済問題について考えます。	(予習)辞書を引き単語の意味を調べ、訳文を作成する。(復習)翻訳ノートの整理。(講義時)自分で訳した訳文を順番に板書してもらい、その場で間違いを訂正する(3h・1h)。
第 5 週： ○第5回 西洋の経済や経済学の背景にある根本的な問題について考えていきたいと思います。 辞書の引き方などを身につけてもらいます。また、翻訳ノートの作成方法を説明します。 今回はとくに、現代における戦争の危機について考えます。	(予習)辞書を引き単語の意味を調べ、訳文を作成する。(復習)翻訳ノートの整理。(講義時)自分で訳した訳文を順番に板書してもらい、その場で間違いを訂正する(3h・1h)。
第 6 週： ○第6回 西洋の経済や経済学の背景にある根本的な問題について考えていきたいと思います。 以上に加えて、徐々に、英文法の勉強の仕方も身につけていってもらいます。 今回はとくに、現代における戦争の危機について考えます。	(予習)辞書を引き単語の意味を調べ、訳文を作成する。(復習)翻訳ノートの整理。(講義時)自分で訳した訳文を順番に板書してもらい、その場で間違いを訂正する(3h・1h)。
第 7 週： ○第7回 西洋の経済や経済学の背景にある根本的な問題について考えていきたいと思います。 以上に加えて、徐々に、英文法の勉強の仕方も身につけていってもらいます。 今回はとくに、現代における戦争の危機について考えます。	(予習)辞書を引き単語の意味を調べ、訳文を作成する。(復習)翻訳ノートの整理。(講義時)自分で訳した訳文を順番に板書してもらい、その場で間違いを訂正する(3h・1h)。
第 8 週： ○第8回 西洋の経済や経済学の背景にある根本的な問題について考えていきたいと思います。 以上に加えて、徐々に、英文法の勉強の仕方も身につけていってもらいます。 今回はとくに、現代における戦争の危機について考えます。	(予習)辞書を引き単語の意味を調べ、訳文を作成する。(復習)翻訳ノートの整理。(講義時)自分で訳した訳文を順番に板書してもらい、その場で間違いを訂正する(3h・1h)。
第 9 週： ○第9回 西洋の経済や経済学の背景にある根本的な問題について考えていきたいと思います。 以上に加えて、徐々に、英文法の勉強の仕方も身につけていってもらいます。 今回はとくに、現代における戦争の危機について考えます。	(予習)辞書を引き単語の意味を調べ、訳文を作成する。(復習)翻訳ノートの整理。(講義時)自分で訳した訳文を順番に板書してもらい、その場で間違いを訂正する(3h・1h)。
第10週： ○第10回 西洋の経済や経済学の背景にある根本的な問題について考えていきたいと思います。 さらに、英語読解の勉強の仕方も、体得できるようにしていきたいと思います。 今回はとくに、現代における戦争の危機について考えます。	(予習)辞書を引き単語の意味を調べ、訳文を作成する。(復習)翻訳ノートの整理。(講義時)自分で訳した訳文を順番に板書してもらい、その場で間違いを訂正する(3h・1h)。
第11週：	

○第11回 西洋の経済や経済学の背景にある根本的な問題について考えていきたいと思います。 さらに、英語読解の勉強の仕方も、体得できるようにしていきたいと思います。 今回はとくに、現代における暴力やテロの問題を考えます。	(予習)辞書を引き単語の意味を調べ、訳文を作成する。(復習)翻訳ノートの整理。(講義時)自分で訳した訳文を順番に板書してもらい、その場で間違いを訂正する(3h・1h)。
第12週： ○第12回 西洋の経済や経済学の背景にある根本的な問題について考えていきたいと思います。 さらに、英語読解の勉強の仕方も、体得できるようにしていきたいと思います。 今回はとくに、現代における国際的な経済格差について考えます。	(予習)辞書を引き単語の意味を調べ、訳文を作成する。(復習)翻訳ノートの整理。(講義時)自分で訳した訳文を順番に板書してもらい、その場で間違いを訂正する(3h・1h)。
第13週： ○第13回 西洋の経済や経済学の背景にある根本的な問題について考えていきたいと思います。 やる気のある学生には、翻訳のテクニックのコツをつかんでもらえればと思います。 今回はとくに、現代における国際的な資源・環境について考えます。	(予習)辞書を引き単語の意味を調べ、訳文を作成する。(復習)翻訳ノートの整理。(講義時)自分で訳した訳文を順番に板書してもらい、その場で間違いを訂正する(3h・1h)。
第14週： ○第14回 西洋の経済や経済学の背景にある根本的な問題について考えていきたいと思います。 やる気のある学生には、翻訳のテクニックのコツをつかんでもらえればと思います。 今回はとくに、現代における国際的な資源・環境について考えます。	(予習)辞書を引き単語の意味を調べ、訳文を作成する。(復習)翻訳ノートの整理。(講義時)自分で訳した訳文を順番に板書してもらい、その場で間違いを訂正する(3h・1h)。
第15週： ○第15回 西洋の経済や経済学の背景にある根本的な問題について、今まで学んできたことの総まとめをします。	(予習)辞書を引き単語の意味を調べ、訳文を作成する。(講義時)自分で訳した訳文を順番に板書してもらい、その場で間違いを訂正する。(復習)翻訳ノートの整理。レポートの作成。(3h・5h)

授業の運営方法	(1)授業の形式	「講義形式」
	(2)複数担当の場合の方式	
	(3)アクティブ・ラーニング	「アクティブ・ラーニング科目」
地域志向科目	該当しない	
備考		

○単位を修得するために達成すべき到達目標	
【関心・意欲・態度】	①人間として一番大切なものを学び続ける姿勢を身に着ける。②①を通じて、社会人としての真の責任感や、倫理観を身に着ける。
【知識・理解】	①人間として一番大切なものを大切にする社会、文化、思想について理解し、経済学の背景となる基礎知識、専門知識を習得する。②①を通じて、現代社会の問題を発見し、解決することができる。
【技能・表現・コミュニケーション】	①人間として一番大切なもののために生きることができるようになり、正しいプレゼンテーション能

【思考・判断・創造】	①人間として一番大切なものについて深く考え、社会事象について正しい視点から考察できる。

○成績評価基準（合計100点）			合計欄	100点
到達目標の各観点と成績評価方法の関係および配点	期末試験・中間確認等（テスト）	レポート・作品等（提出物）	発表・その他（無形成果）	
【関心・意欲・態度】 ※「学修に取り組む姿勢・意欲」を含む。		25点	30点	
【知識・理解】 ※「専門能力〈知識の獲得〉」を含む。		15点	5点	
【技能・表現・ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ】 ※「専門能力〈知識の活用〉」「チームで働く力」「前に踏み出す力」を含む。		5点	10点	
【思考・判断・創造】 ※「考え抜く力」を含む。		5点	5点	

（「人間力」について）

※以上の観点に、「こころの力」（自己の能力を最大限に発揮するとともに、「自分自身」「他者」「自然」「文化」等との望ましい関係を築き、人格の向上を目指す能力）と「職業能力」（職業観、読解力、論理的思考、表現能力など、産業界の一員となり地域・社会に貢献するために必要な能力）を加えた能力が「人間力」です。

○配点の明確でない成績評価方法における評価の実施方法と達成水準の目安	
成績評価方法	**評価の実施方法と達成水準の目安**
レポート・作品等 （提出物）	最後に、翻訳ノートと、内容に関するレポートを提出してもらいます（次学期にノートは返却する）。 [Sレベル]単位を修得するために到達すべき到達目標を完全に満たしている。 [Aレベル]単位を修得するために到達すべき到達目標を満たしている。 [Bレベル]単位を修得するために到達すべき到達目標をほぼ満たしている。 [Cレベル]単位を修得するために到達すべき到達目標をかなり満たしている。
発表・その他 （無形成果）	毎回、予習して訳文を作成し、発表してもらいます。 [Sレベル]単位を修得するために到達すべき到達目標を満たしている。 [Aレベル]単位を修得するために到達すべき到達目標をほぼ満たしている。 [Bレベル]単位を修得するために到達すべき到達目標をかなり満たしている。 [Cレベル]単位を修得するために到達すべき到達目標を一部分満たしている。